

# 関西大学

# 東西学術研究所紀要

## 56

---

### 論説

- 日本における『家礼』式儒墓について  
 — 東アジア文化交渉の視点から (四) …………… 吾妻重二 ( 3 )
- 天平十三年の書持と家持との贈答について (三)  
 — その表現について — …………… 村田右富実 ( 37 )
- 元禄期における『徒然草』の版本挿絵 …………… 村木桂子 ( 53 )
- ツバキのある風景  
 — 『万葉集』巻第十二・三一〇一番歌を中心に — …………… 毛利美穂 ( 73 )

### 研究ノート

- 岩田慶治・アジアを語る  
 — フィールドの経験と自画像 — …………… 野間晴雄 ( 89 )
- 能楽師大西家盛衰記  
 — 『國諷』を中心に — …………… 関屋俊彦 ( 109 )
- 

### 論説

- ルイ 14 世治下ヴェルサイユ宮廷の女官たち  
 — ブルゴーニュ公妃の家中を中心に — …………… 嶋中博章 ( 3 )
- The Lawyer's Scarf, the Banker's Waning Testosterone:  
*A Most Wanted Man* and the Post-9/11 Politics of Emotion  
 …………… 板倉巖一郎 ( 29 )
- Hitomaro's Parting Poems from Iwami  
 A Narratological Rehabilitation of Itō Haku's "Centripetal Model"  
 …………… ローベルト F. ヴェットカンブ ( 47 )
- 石濱純太郎を中心とした東洋語学の系譜  
 — 川崎直一の書簡から — …………… 玄 幸子 ( 79 )
- ブルーノ・タウトと煉瓦  
 — その意識化の契機 — …………… 蛭川順子 ( 111 )

### 翻訳

- 陳寅恪『唐代政治史述論稿』  
 「上篇 統治階級之氏族及其升降」訳注稿 (3) …………… 陳寅恪 著／森部 豊 訳 ( 139 )

### 研究ノート

- 《集王圣教序》在日本大正时期的鉴藏与出版  
 — 以罗振玉题跋的两个宋拓本为中心 — …………… 张亚敬・黄政霖 ( 159 )
- 

二〇二三年七月

関西大学東西学術研究所

東西学術研究所紀要

第五十六輯

(二〇二三年七月)

関西大学東西学術研究所

BULLETIN OF THE INSTITUTE OF ORIENTAL  
AND  
OCCIDENTAL STUDIES, KANSAI UNIVERSITY

---

No. 56

JULY 2023

---

CONTENTS

Articles

*Jia-li* Style Confucian Tombs in Japan:

A Study from the Perspective of Cultural Interaction in East Asia, Part 4

..... AZUMA Juji ( 3 )

The Correspondence Between “大伴書持” and “大伴家持” in 741 (3)

..... MURATA Migifumi ( 37 )

Illustrations for the Printed Edition of “Tsurezuregusa” in the Genroku Period (1688-1704)

..... MURAKI Keiko ( 53 )

A Study of the Landscape with *Camellia japonica*:

“Manyōshū” Vol. 12, No. 3101 Poem ..... MOHRI Miho ( 73 )

Study Notes

IWATA Keiji Talks about Asia

— Field’s Experience and Self-Portrait — ..... NOMA Haruo ( 89 )

The Rise and Fall of the Noh Actor Ohnishi Family

— Focusing on “Kokuf ū” — ..... SEKIYA Toshihiko ( 109 )

---

Articles

Female Servants at the Court of Versailles during the Reign of Louis XIV

..... SHIMANAKA Hiroaki ( 3 )

The Lawyer’s Scarf, the Banker’s Waning Testosterone:

*A Most Wanted Man* and the Post-9/11 Politics of Emotion ... ITAKURA Gen’ichiro ( 29 )

Hitomaro’s Parting Poems from Iwami

A Narratological Rehabilitation of Itō Haku’s “Centripetal Model”

..... WITTKAMP, Robert F. ( 47 )

Genealogy of Oriental Languages with a Focus on

Juntaro Ishihama-From the Letters of Naokazu Kawasaki ..... GEN Yukiko ( 79 )

Bruno Taut and the Brick:

His Motives of its Awareness ..... NINAGAWA Junko ( 111 )

Translation

Chen Yinque, *Tangdai Zhengzhishi Shulungao*, Chapter 1; Part 3

..... Translated by MORIBE Yutaka ( 139 )

Study Note

The Publication and Propagation of the Ji Wang shengjiao xu  
in Japan during the Taisho Period:

Centered on Two Song Rubbings with Luo Zhenyu’s Inscriptive Writings

..... ZHANG Yajing, HUANG Zhenglin ( 159 )

---

EDITED BY  
THE INSTITUTE OF ORIENTAL AND  
OCCIDENTAL STUDIES  
KANSAI UNIVERSITY, OSAKA

## 編集後記

玄幸子研究員から引き継ぎ今号より編集委員長を務めることとなった。今号は投稿数が十四件、査読を経て一件を不採択とし、結果、論考を九本、研究ノートを三本、翻訳一本を掲載することとなった。

二〇二〇年初より始まった新型コロナウイルス（COVID-19）の世界的感染拡大によって、西洋・東洋の両洋をその名に冠する東西学術研究所では、研究員の研究活動は、特に国際的な移動が不可能になるなどして大きな制限を受けた。そのなかでも本研究所は多くの学術成果を収録した本紀要を休むことなく刊行しつづけた。これはCOVID-19の感染拡大という天災のなか研究員が控えることなく研究を持続し発展させた結果であり、大いに誇りとするところである。

COVID-19の世界的感染拡大、すなわちコロナ禍が終息するかに見えた二〇二二年二月、ロシアがウクライナに軍事侵攻し、この人災によってポスト・コロナの世界のありさまは私たちの期待を裏切るものとなった。その一つに世界的なエネルギー価格の高騰があり、研究員の研究活動はまたして大きな制限を受けることとなった。このエネルギー価格の高騰はまた印刷費等の高騰を引き起こし、現時点で本紀要の印刷・製本に大きな支障をもたらしている。従って、コスト面を考慮して本紀要の印刷・製本はこれまでとは異なる方法を探らざるを得ない。

しかしながら、本紀要に掲載された学術成果はすべて電子化され、「関西大学学術リポジトリ」に登録・公開されることになって

いるので、印刷・製本の実数を変更するという現実を前にしても、本研究所の学術成果にアクセスする方法と機会は確保されている。二〇二〇年初から私たちは不安と絶望をぬぐいさることができないまま、現在に至っているが、本研究所の研究活動について言えば、研究員のたゆみない努力によってむしろさらなる発展を遂げているというべきであろう。今号が掲載する論考・研究ノート・翻訳のすべてがそれを証明している。

今号を発行するにあたり、編集委員の各位、そして査読に当たられた研究員の方々、そして、実質的に最も大変な編集作業を進められた研究所事務局のスタッフの皆様にご心より御礼申し上げます。

（長谷部 剛）

二〇二三年七月一日発行

発行所 © 関西大学東西学術研究所

所長 一階堂 善弘

〒五六四一八六八〇

大阪府吹田市山手町三丁目三番三五号

電話 〇六一六三三六八一―一七九番

FAX 〇六一六三三三九一―七七二番

編集者 関西大学東西学術研究所

編集委員長 長谷部 剛

編集委員

奥村佳代子 池尻 陽子

井上 主税 森本 慶太

村田右富実 近藤 昌夫

印刷者

協和印刷株式会社